

bindでDynamicDNS設定した際、jnl(ジャーナルファイル)をzoneファイルに手動反映

【結論】

[Zoneファイル毎に実行]

```
# rndc sync -clean example.com  
(-clean と付けると、反映後に、example.com.zone.jnl は削除されます)
```

[全てのZoneファイルに対して実行]

```
# rndc sync -clean  
(-clean と付けると、反映後に、example.com.zone.jnl は削除されます)
```

手動反映させるには、上記の方法が一番、手っ取り早いと思う。
急がなければ、jnlファイルは定期的にzoneファイルへ反映しているので、
zoneファイルとjnlファイルのタイムスタンプを比較して、zoneファイルのほうが新しければ反映済み

```
ls -l /var/named/data/cache_dump.db  
# rndc dumpdb -zones  
# cat /var/named/data/cache_dump.db | grep ddns.example.com
```

その他の方法として、以下の方法もあるらしい (動作未確認)

```
# rndc freeze example.com  
# cat /var/named/zone/example.com.zone  
# rndc thaw example.com
```

しかし、この方法は、確実に「thaw」を実行しないと、
反映されなくなる点に注意が必要との事だった。

添付ファイル::

一意的なソリューション ID: #1012

製作者: n/a

最終更新: 2022-07-15 20:46